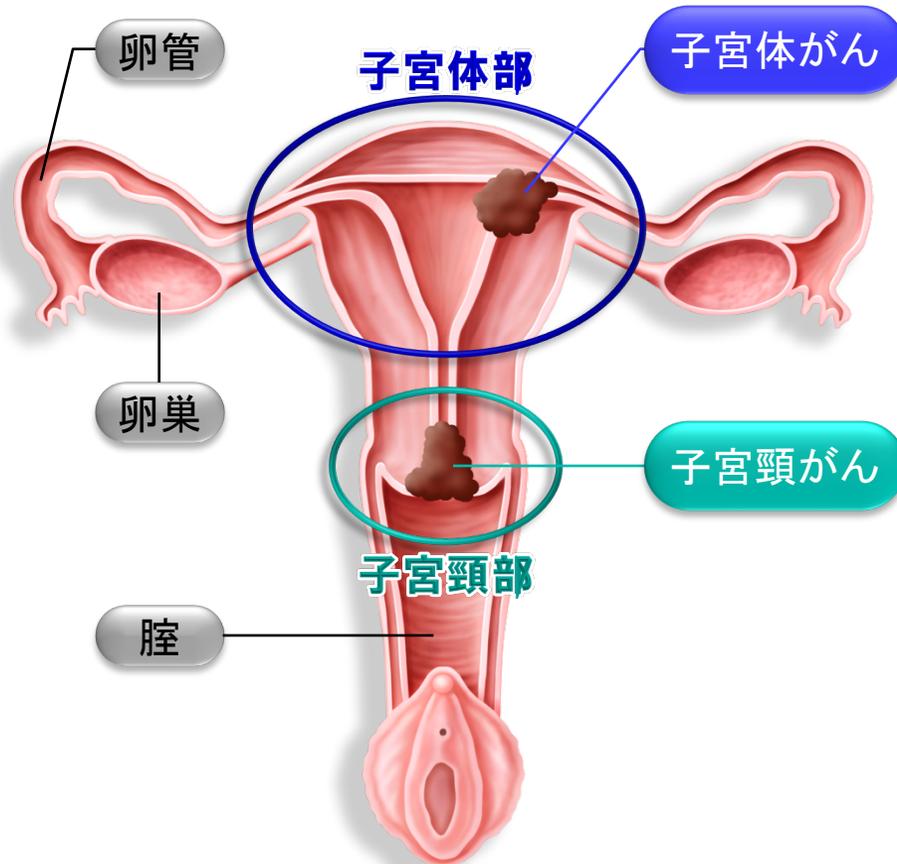


子宮頸がんとう子宮体がん

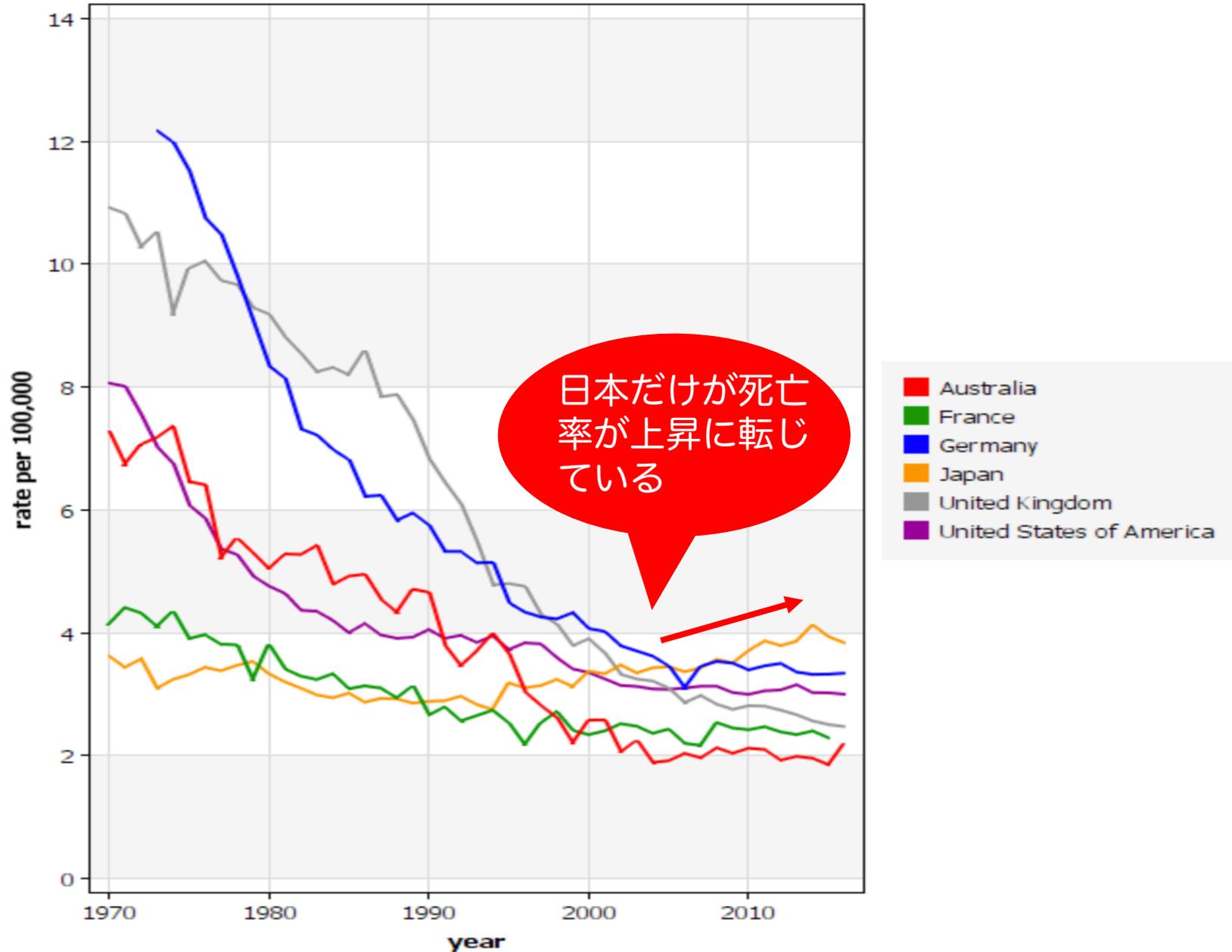


	子宮頸がん	子宮体がん
自覚症状	初期は無症状	不正性器出血
好発年齢	30～40代 (20～30代で急増)	閉経後の 50代以降
リスク ファクター	<ul style="list-style-type: none"> ●高リスク型HPV感染 ●扁平上皮癌は喫煙 	<ul style="list-style-type: none"> ●肥満、高血圧、糖尿病 ●未経産婦 ●エストロゲン製剤の長期使用など
組織型	扁平上皮癌: 75% 腺癌: 20% その他: 5%	腺癌: 95% その他: 5%

日本における子宮頸癌の発症数と死亡数

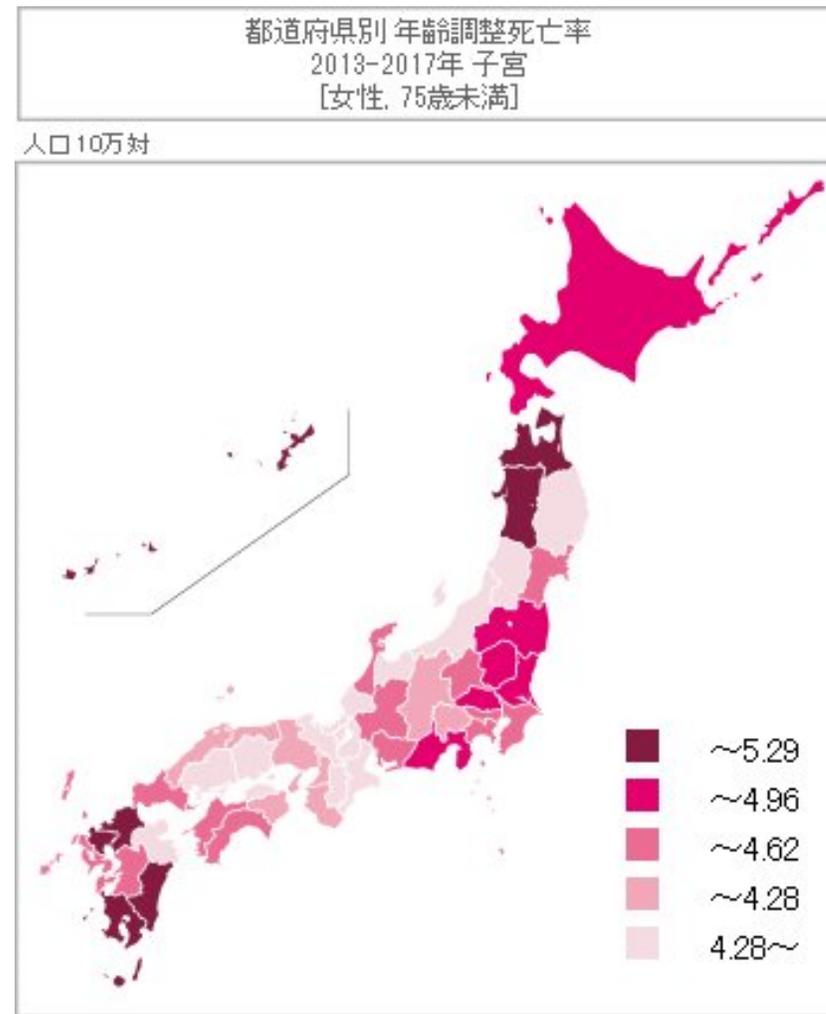
- 1年間に約11,000人の女性が子宮頸がんを発症している¹
(うち100人弱は妊娠中の発症)
- 1年間に約2,700人の女性が子宮頸がん で死亡している²
(うち150人は40歳未満)
- 20～30歳代女性で、子宮頸がんは罹患率・死亡率ともに増加している

子宮頸がん死亡率の国際比較(20-59歳)

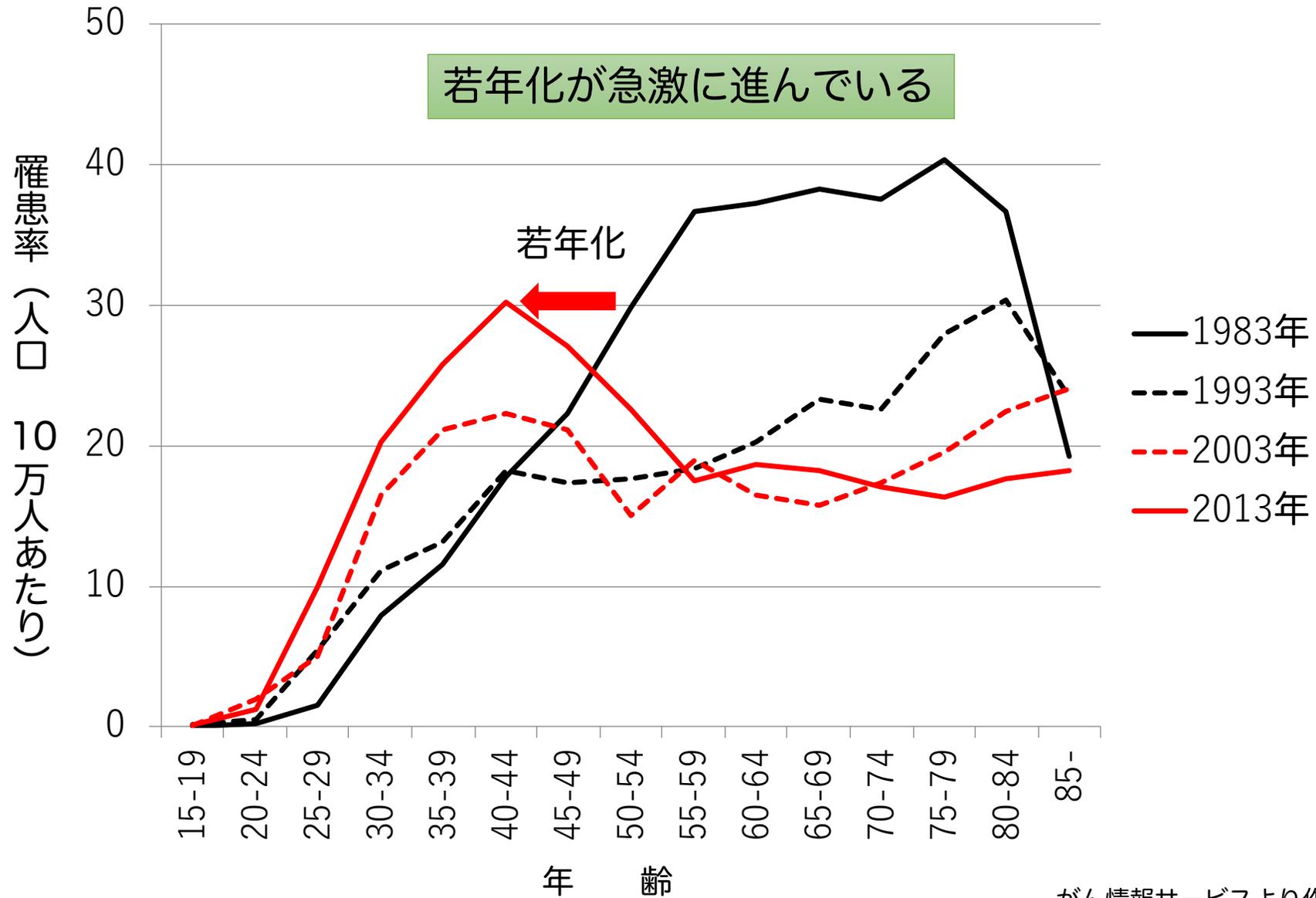


子宮がん75歳未満年齢調整死亡率（過去5年平均）

都道府県	年齢調整死亡率 (2013~2017年)	全国順位 (ワーストから)
沖縄県	7.14	1
佐賀県	6.25	2
宮崎県	6.01	3
青森県	5.65	4
福岡県	5.65	5
秋田県	5.55	6
鹿児島県	5.46	7
栃木県	5.27	8
静岡県	5.17	9
茨城県	5.17	10

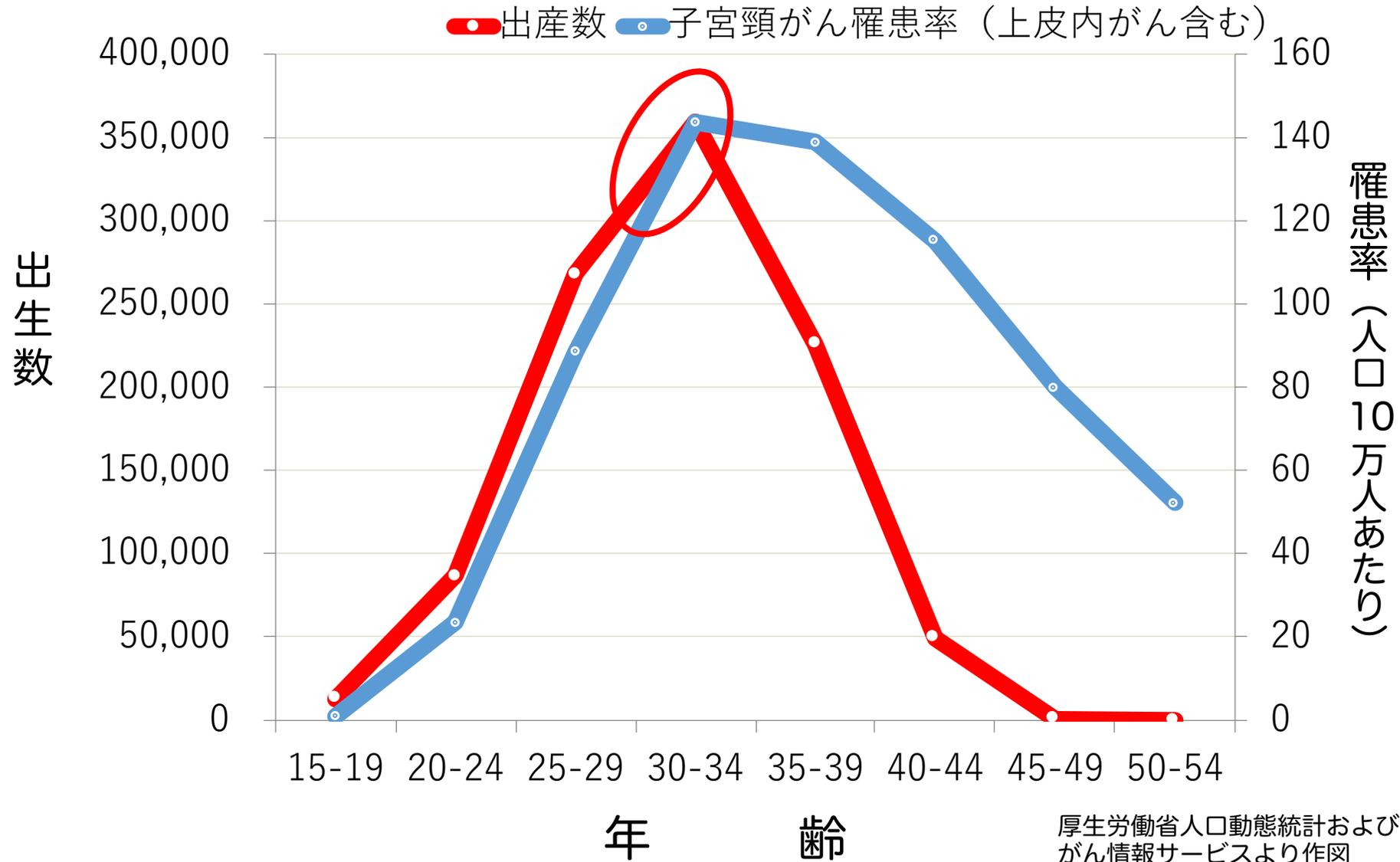


子宮頸がん年齢別罹患率の推移



子宮頸がんの罹患年齢と出産年齢 (2014年)

出産年齢のピークは子宮頸がん(上皮内がん含む)罹患のピークでもある



子宮頸がん進行期別治療法

